

林檎

岩手Mac友の会

Vol.2, No.6 1990.12.6

Iwate Macintosh Funclub

岩手Macintoshユーザー会長
野村様

アップルコンピュータジャパン (株)
社長 武内 重親

秋の気配も深まりますます御清栄の事と思います。
前回、日経mixでお会いしてから御元気でお越しの事と思います。

9月に弊社UserGroupSupportが、集会にお伺いしてユーザー活動でのめざましいご活躍の様子を伺い心強い思いが致します。
さて今回弊社を訪問される話ですが、出張中で不在して申し訳ありません。
関根部長に当日面会して、弊社へのきたん無い意見を伺いたい所存です。

今後とも、UserGroup活動での御活躍を期待しております。
岩手UserGroupの会員の皆様にも宜しくお伝え願います。

敬具

根部長と、青山課長、そしてMMMでおなじみの野村さんとお話できました。

こちらから「林檎」一式と昨年のマック文鎮をお土産として持参し、1時間半ほど歓談して来ましたが、本当にこれからACJがユーザーサポートに力を入れようとしていることが伝わってきました。また、Macintosh Classicが発表されたばかりなので、新しい製品戦略のお話を伺いましたが、価格を安くしてユーザー数を増やすことに重点を置きながら、既存ユーザーへのサポートを充実させていくという、我々の希望と同じであることが実感でき、楽しい訪問になりました。



アップル訪問

MMM'90 in APPIの興奮が覚めないでいるところに我が愛するMacintoshの販売元であるアップルコンピュータジャパン(以下ACJと略)の武内社長が、日本での販売台数を倍増させた功績が認められ、アメリカのApple Computer社の副社長の一人に就任したとのニュースが飛び込んできました。

そこで、仕事で上京する際に時間を空けて、ACJにお邪魔し、MMMへの協力に対するお礼と、副社長就任の

お祝いを兼ねて表敬訪問することを思い立ち、Mac Avenue (ACJがユーザーグループに解放したネット:前号参照)を通じてアポイントのお願いをしたところ、あいにく当日はアメリカに出張して居るので会えないがユーザーサポート部の責任者が居るので、彼と会って欲しいと上記の解答をいただき、訪問が実現しました。

さらに丁寧に渡米の前日、武内社長から直接私のところに電話がありまして、暫くの時間お話をすることができました。

ACJでは、ユーザーサポート部の関

Inside

Meet the Mac	2
山の花	4
English Column	5
Mac and big screen	6
私のMac Life	8
林檎ギャラリー	10
東京通信	11
盛岡BBS Now	12
余計なお世話	14
編集後記	15
会員名簿	15
掲示板	16

Meet the Mac

by 佐々木 健

プロローグ

1989年のある日、某紙で Sim City というゲームの記事を見つけた。

おお、これこそ私が待っていたゲームだ、と思った私はさっそくそれで遊ばなければならないという使命感に襲われた。

私の持っていたパソコンは FM77-AV。当時 FM77-AVの用途は、神棚にあげるか、お墓に埋めるかのどちらしかなかった。

そのころ Sim Cityは Macか AMIGAでしか動かなかった。

うーん、Macを買うか AMIGAを買うか。仕事なら Mac、遊びなら AMIGA。だったら AMIGAを買えばいいのかな? AMIGA ならポピュラス(ゲーム)もできる。

しかし AMIGA は日本語環境が悪い。Mac なら仙台の母校に強力なユーザーがいる。(彼は東北で4番目に SE/30を買ったと自負している熟年ユーザーなのだ。)

しょうがない(しょうがない?) Mac にしよう。

第2章

Mac が我家にやってきたのは年の暮れ、少し遅れたクリスマスプレゼントだった。

何故かそのころの MACLIFE は Mac 購入特集をしていた。(今思えばあれは Mac の価格が下がる前に早く売って儲けようとする業者の罠だったのだろうか) 40MBHD込みで368,000円だった。

当時は、ゲームをする傍ら Macintosh がどういうものか勉強になればこの投資額は妥当なところだろうと思っていた。

1990年の正月は、Sim City三昧の日々になった。

その後、いくつかのソフトを手に入れ、「ふーん、いろんなことが簡単にできるんだな」と感じた。

しかし、Macで作ったものを成果品として発表する場の環境をもたない私は、それ以上の発展はなかった。その反面 Systemをいじることのほうが面白くなり、毎日 INIT やら FONT やらをとっかえひっかえする毎日となった。

第3章

私の主義は、Systemはシンプルなのがいいということである。使わない FONT や DA はバンバン外している。

しかし、Macを楽しくしてくれるエンターテインメントな DA や INIT は、相性が悪くないかぎりバンバン入れることにしている。(結局 System は大きくなる。一体私はなんなのだろう)

特にお気に入りなのが、Talking Moose という DA である。これは PDS で(最近、製品化されたみたい)、Moose君(鹿?)が、画面の左上に現われておしゃべりをするという DA であ

る。(もちろん英語!)

残念ながら私のもっているバージョンは古く、決まった言葉しか話してくれない。

最近のバージョンは、アラーム機能があり、話す言葉も自分で変えられるということなのだが……。

mini WRITER も好きである。これも私のもっているバージョンは古く、日本語編集はできるが印刷ができない。新しいバージョンは日本語印刷もできるということなのだが、どなたかもっておりませんか。

エピローグ

私と Mac との会話は、「これを押すとどうなるのかな、ポンッと。……ほう…。」といった感じである。

グラフを作っていると、Moose 君の茶々が入る。実にゆったりした会話である。

はたして Macintosh の性能を十分に使うことができるのはいつのことか。



Meet the Mac

by 遠山 明人

今年の夏に金沢から引っ越してきました。遠山です。某1銀行の次期システム開発をお手伝いしています。一応、コンピュータ周りの仕事をしていますが、端末にはほとんど触れる機会がありません。

今回は突然の原稿依頼で爆弾マークでしたが、私とマックの出会いをご紹介します。

私が初めてマックと出会ったのは、金沢での仕事も後ひと月を残すだけとなった4月の終わりごろであった。ふと立ち寄ったショップの片隅にページュ色のかわいいマシンがあるではないか。シンプルなボディにカラフルなリングマークがおしゃれな“マッキントッシュプラス”は中古品であった。

パソコンなるものと付き合いだして早や5年、マッキントッシュという名を聞いたことがないではなかったが、実物を見るのは初めてであったし、たいへん高価なパソコンだということもきいていた。

従って、ピンボーサラリーマンの私にはまったく縁のないものだという気持ちがあった。ところが、それが目の前にあり、しかも安い。

そのときはゲームソフトのデモを見せてもらっただけで帰ったが、その後もあのページュ色のかわいらしい姿が目には焼きついてはなれない。3台の98をお守りするだけでもたいへんなのに、そのうえマックにまで手をだし

てしまったら危険だなあ、はまりそうだなあと思いつつも誘惑に抗しきれず、購入を決意する。

中古機にしてはショップのサービスも良く、キッチリ再調整し、きれいに磨きあげてくれた上に、テトリスとモデムケーブルそれといくつかのPDSソフトをおまけしてくれた。今思えばマックのパフォーマンスについて何も調べもせず、外見と価格だけで買って

は、リアルなサウンドであった。

テトリスとPDSのゲーム(The Phoenixとシャッフルバックモドキ)だけでそれはもう十分に楽しませてくれた。なんでこんな小さなマシンでこれだけのことができてしまうのか、不思議でならなかった。

そのころは、マックで漢字を使おうなんて考えていなかったし、ゲームとPDS遊びに楽しく使えていればそれ

でよかった。ところが、半年もたつといろいろ知恵もついてくる。ゲームとPDS遊びだけでは少々物足りなくなってきたところだし、ヨメさんはテトリンガーを卒業してしまった。IMFの皆さんを見習い、もっちと仕事に役立つことに利用できないかと思うが、「プラスじゃ



しまったのだから我ながらいいかげんなものである。

さて、その日からわが家の一員となったマックは「マックちゃん」と呼ばれることとなった。(ちなみに、わが家のHDDは「様」つきで呼ばれている)最初の1カ月はマックのスイッチを入れるたびに驚きの連続であった。日頃パソコンを目のかたきにしているヨメさんですら、そのかわいらしい姿に心奪われ、毎晩マックの小さな画面を二人でのぞき込んで「ヘエーッ、ホォーッ、ウヒャーッ!!」の連続であった。白黒にもかかわらずそのグラフィックの美しさ、センスの良さ、そしてなにより感動的だったの

ねえー」という声も聞こえてくる。マックを使うそのことだけで十分楽しかった頃とはプラスに対する評価もやや厳しくなってきたかなあと思う。でも道楽で使う分には、少々とろくても愛らしく暖かみがあった方がよいのではなからうか。そういう意味では、やはりわが家にマックプラスはなくてはならない存在なのだ。あせらずマイペースでマックと出会った感動をいつまでも忘れないような付き合い方をしたいと思っている。



ある年の六月下旬、早池峰の小田越5合目のすこし上でイワウメが緑の葉のジュータンにクリーム色の花を一面に咲かせていました。それが毎年同じ時期に同じように咲くものと思っていたら、その後同じ光景に巡り会うことがありません。咲く時期が限られしかも豊作、不作があるようです。

イワウメは常緑のわい性低木で、背の高さが2~3センチなのに径1センチの花が上向きに美しく咲き、花冠が5裂して、ウメの花を思わせるところか

山の花

佐藤護人

ら岩梅と名づけられました。中には赤花が有るようですが、まだ見たことがありません。この写真では一輪だけの花弁の先が赤く染まっています。

「一期一会」と言う言葉があります

が、IMFの例会でも、編集会議でもその時とそのメンバーの組み合わせは二度と無いわけで、その時間を大切にしなければならぬと思うようになりました。また、その時点ではつまらないと思ったことが、あとで大切な事に気付き、あの時もう少し集中して聞いていれば良かったのと思うことが最近多くなって来ました。皆さんは如何がでしょうか？この様な事を思うのは老化現象かな…。



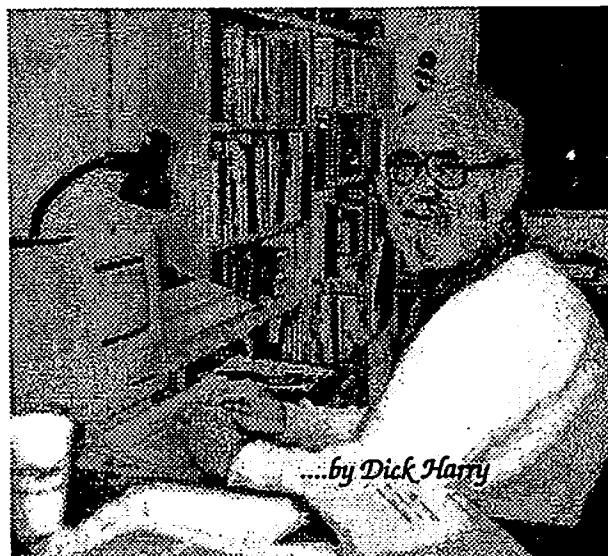
A Time of THANKSGIVING



After the harvest time in early America, a harvest festival (a time of giving thanks for the bounty that was provided) was held. Today Americans celebrate this harvest festival as a national holiday, Thanksgiving Day, which is always on the fourth Thursday in November. It also comes very close each year to the Japanese Labor Thanksgiving Day. In fact this year the American holiday will be on Thursday, November 22, and the Japanese holiday is November 23.

A time of thanksgiving is celebrated by different people from different cultures in different ways. Some go to churches, or temples, for religious services. Some have family, tribal, or community dinners, which may include a time of singing and dancing. But the common theme through all of these festivals is this--a time of thanksgiving.

As this time of Thanksgiving comes to our house, I have been taking time to reflect on what there is for me to be thankful for. I find that this list is not too different from year to year, but it is good for me to think about it and count the ways I have been blessed again this year. First of all there is my health. I had heart surgery 5+ years ago, and because of this, I am very healthy. I have also learned to take better care of myself and not get into the same situation again, for which I am also thankful. I am thankful for my wife (my best friend) and our family, who have been very supportive of us even when we came so



many miles away from them. I am thankful that I have come to Japan and, even though it has not always been easy, had the chance to live and experience a different culture from my own. I am thankful for the many opportunities to learn and grow here. Of course my list would not be complete without my being thankful for the many friends we have made while living here. We will be returning to America in a few months and we will have many warm memories of Japan because of the wonderful people who have been our friends. Thanks to all of them.

And last, but not least, I am thankful for the opportunity to write this column in this newsletter. It has truly been a growing experience for me, and I thank the editors for giving me this opportunity.



Mac and big screen

by

白石 隆

先日、会社で使用しているPC9801用にPCの画面をビデオテープに録画するために、デジタル・アーツ製のDISCO1というRGBからNTSCに画像信号を変換するボックスを買いました。実は、私のMacでも試しに使用してみたいためでもありましたが。

私のMacには、恒和技研製のPower-Vision30/8というSE/30用のビデオカードを装着しています。このカードの特長としては、アップル純正のモニターモード(640×480)とPC9801モード(640×400)があります。いつもは、このボードにNEC製のTV471という20インチマルチスキャンモニターを付けていますので、640×480にして使用しています。

DISCO1を、PowerVision30/8に接続することにより、MacでもPC9801のように画面をビデオテープに録画できるのではないかと考えました。買ってすぐに、DISCO1を接続しましたが、当初、DISCO1のディップスイッチの設定がまちがっていたために、色がおかしく映りました。設定を色々いじってうまく映るようにしました。

そうこうしている内に、高橋さんから、ある仕事のためにCADデータを使用して、Directorで作成したプレゼンテーション用データがあるので、そ

れをビデオに取ってみたいので、来社したい旨の電話がありました。そこで二人で色々実験してみました。たまたま、知人からシャープの液晶プロジェクタを借りていたので、それで、directorのプレゼンテーション・データを100インチに拡大して映して見ました。

一挙にあれこれやってみようと言うことになり、シャープ液晶プロジェクタ、PC9801用に発売されているセイコー電子製透過型プロジェクションパッドシステム「大みえくん」PG2201、富士ゼロックス製ズーム機能つきOHPオーバーヘッドプロジェクタ、VHSビデオテープレコーダ、東芝製テレビを接続しました。

こんなことも出来る、あんなことも出来る...と、二人で盛り上がってしまいました。

シャープの液晶プロジェクタに映しだして見ると、全体にボケぎみになりますが、色の再現性もまあまあ良いようですし、フリッカーが少なく、小規模のプレゼンなどの利用には耐えられると思います。色に関しては、Video Bord, VTR, TV, Projectorなど、各々機器の相性や、機器本来の持っている特性などでかなり大きく影響されるようです。

映して感じたことは、NTSCに画像を落とすには、いくつかコツがあるということです。

1. 書体サイズは12ポイント以上を使用する。できれば24ポイント以上。
2. 書体は明朝が見やすい。
3. 文字の見やすいような背景やベタを選択すること。文字のバックになる色は薄い色のほうが見やすい。例えば水色や黄色、青色は濃すぎて見えにくくダメのようです。
4. Macモニタの場合640×480ですが、DISCO1はPC9801用のNTSCコンバーターなので、画像サイズは640×400になります。そのため、画面の下がきれいなレイアウトにしておく。
5. プレゼンする時は文字は1画面5-6行ぐらいにし、大きく表示する。
6. できるだけS端子付きS-VHSテープレコーダで録画する。

この後、NTSCに詳しいプロのテレビ岩手の照井さんを引っ張り込んでしまえば、もっとノウハウが得られるのではないかと思います、11月例会の数日前に電話をして、会社に来てもらいました。

高橋さんの時と同じく、色々な機器構成、設定でやってみました。DISCO1のディップスイッチの設定をいじって、今までよりうまく映るようによくなりました。照井さんのようなテレビ局のプロの方達も画面サイズと奇麗に表示できる方法については試行錯誤していらっしやるのが解かりました。(もちろん使っているハードは格段に高性能のものと言うことは解かりますが...)

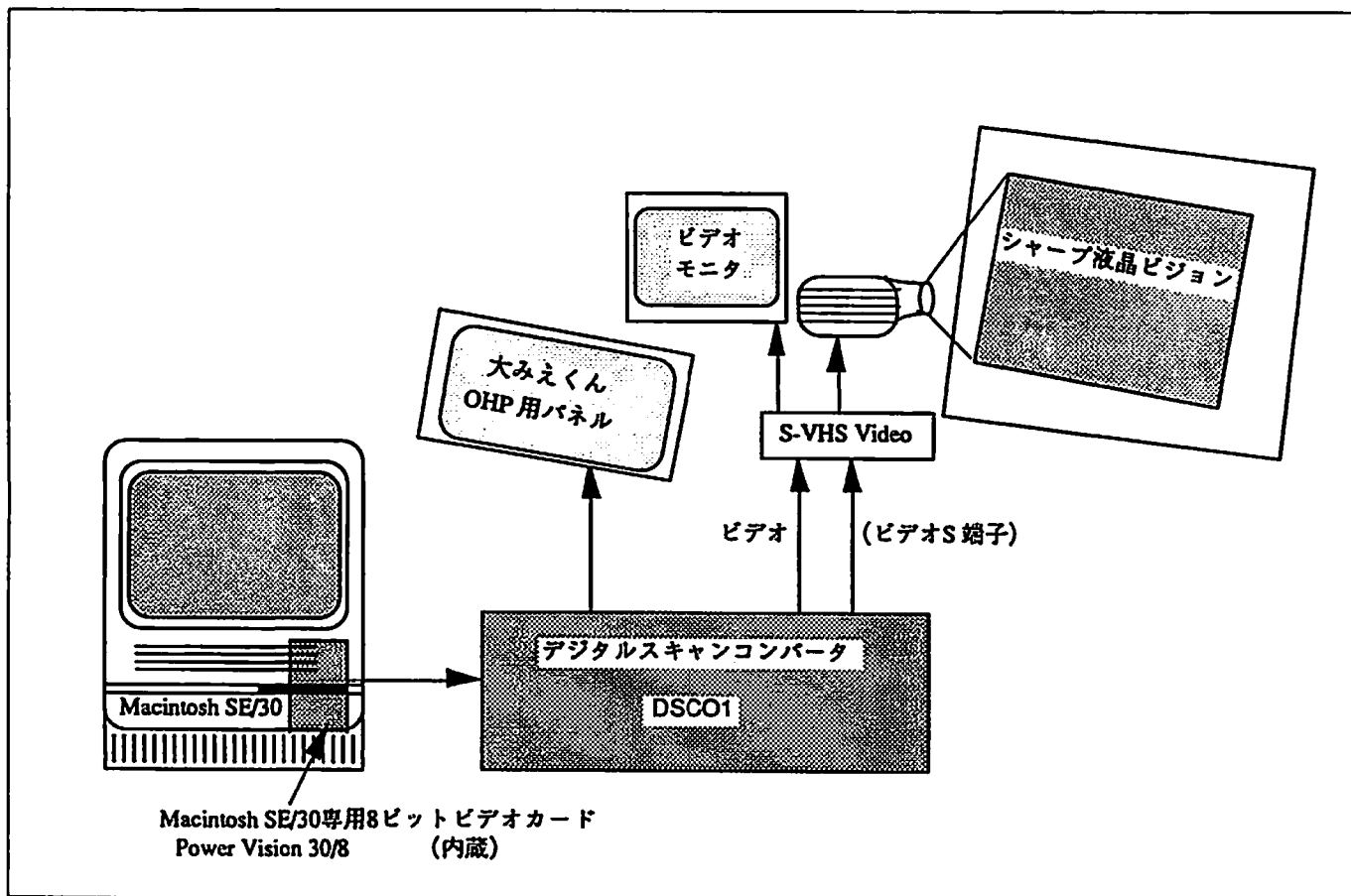
照井さんが言っていました、12ポイントがやっと見えるだけなのは、DISCO1の変換が悪いのではなく、NTSCの規格自体が悪いためのようです。NTSCの場合は、446ドットの細かさの表現力しかない所に640ドットの細かさが入るので「ぼやける」という結果になるそうです。ドットを単純計算してみると、「12ポイントならなんとかなる」との結論が出るそうですが、但し、この計算はモノクロの話でカラーの場合はぐっと落ちるそうです。奇麗に出す対策としては、「細かな表現の部分では色を薄くする」ことだそうです。

11月例会では、図のような機器構成でMacの会の皆さんにプレゼンター

ションのデモをしました。

OHPの画面とシャープの画面をスクリーンに同時に投影しました。白黒ですが細かい所はOHPの方をズームにして表示、シャープ液晶のレンズにフタをする。カラーの全体的な所はシャープの方から表示して、OHPのほうのレンズシャッターを閉じる。このように適時、切り替えて映写すると見やすいようでした。

このように、RGB信号をNTSC信号にするために、高橋さん、照井さん、Mac友の会の皆さんまで巻き込んだ今回の騒動も、この記事をもって一応の終幕を迎えました。



私の MacLife

根本 聰彦

Macは私の生活必需品です。機械に必要以上の思い入れをするのは好みませんし、マニアになれるほど知識もありませんが、現在の私にとって欠くことのできない道具のひとつになっています。

私がMacを購入したのは平成元年の3月ですが、購入の動機はMacが自分の能力や可能性を開拓する道具になりそうな予感を感じたからです。機械にわずらわされたり、振り回されたりするのはまっぴらだと思ってましたから、自然とMacになってしまったのです。お察しのとおり、大学の教室にいたときはDOSマシンに忙殺されていました。

さて、現在何に使っているかと言う事ですが、諸先輩方と同じ部分が多いと思います。ワープロ、グラフ描き、計算、住所録、などなど、縦横無尽にという程ではありませんがマルチプルに利用しています。特に論文作成時や学会発表には絶大なる威力を発揮しています。しかし私のMacはもうひとつの大きな仕事のために使われています。パソコン通信の利用です。パソコン通信なら別にMacでなくても良いではないか、と思われるでしょうが、やはりMacでなければ今現在の仕事はなしえなかったでしょう。今日はこれについて少しお話することにいたしましょう。

「はちのへメディカルネット (HMN)」という、八戸市医師会が主催する医療パソコンによる医療ネットワークが八戸で稼働しています。いろいろな経緯から私はこのネットの発足から本格稼働に至るまで深くかかわることになりました。

まずHMNについて解説しましょう。吉田先生が盛岡でもメディカルネット作らねばとおっしゃってましたし、IMF内にも医療従事者が少なからずいらっしやるので、少し参考になるかもしれませんので...

全国的に、医師会がパソコンネットワークに興味を持つようになってきた今日この頃ですが、八戸では八戸市医師会の先見ある人々が、パソコンを利用したネットワークを中心とした医療情報ネットワークを構築しようと考えたのは昭和63年からでした。医師会の中に医療情報システム委

員会を発足させ、最初は医師会員のためのパソコン講座やワープロ講座、マルチプラン講座などを設け延べ60回に及ぶ講義が行われました。まず機械と仲よくなるのが先決である、と言う事に気付いて、足固めから始めた八戸市医師会は先見の明があったと思います。

平成元年8月、医師会は八戸在住の医師からモニターを募集し、応募した16名の医師で実験通信を始めたのでした。私は1月に八戸に赴任し、3月にMacを買って、6月に通信を始めたばかりのひよっこネットワークでしたが、この栄えある16人の中に名を連ねたのでした。

平成2年にはモニターを倍増して34名にし本格稼働に自信を深めて参りました。そもそもの医師会側の目論見は、現在医師会が運営している臨床検査センターの検査データをオンラインで会員に提供できないか、ということ

でしたので、このニーズにきちんと答えるには、仕掛をもう少ししっかりとしなくてはなりません。

て、およそこのたぐいの仕事をしていまして何らかの形で行政が介入して参ります。八戸市は郵政省胆入のテレピア計画に参加しており、行政側としても、医師会を取り込んで医療情報事業に参画していきたい意向を打診してきました。たいていこの場面で行政側にまるめこまれて、いよいよにいじられてしまうのが常なのですが(よその自治体ではこれが多い)幸い八戸市医師会は63年以来力を蓄えていたため、逆に行政を取り込んで、目的遂行に役立てられるようになりました。

八戸市からスーパーミニコン提供の話がでてきたのです。臨床検査データの配信事業をこのミニコンを使って行うことが可能になったのです。行政は



とかく住民情報を独占したい傾向にあります。最初市庁舎に設置され管理される予定でしたが、医師会側の強い要請で医師会館内に設置されることになりました。医師会は今後発生するであろう保健、衛生事業に関するデータに関しても、市側の一方的な提案を鵜呑みにしなければならない状況からは回避されたわけです。

八 戸の医療情報システムは2つのシステムにわけて運用されるようになったのです。1つはBBSを中心としたパソコンをホストにして運営される「はちのヘメディカルネット」と、ミニコンをホストに運営される「八戸テレピア協力ネット（仮称）」です（これは来年、平成3年3月完成予定です）。前者は完全に八戸市医師会が独力で経営するわけでシステムの独立性が保証されています。

一方金のかかる後者のシステムは市の経済的支援を得て運営されます。この仕掛によって八戸市医師会はきわめて安価に医療情報システムを構築することに成功しました。

先輩である姫路市、旭川市、鹿児島県、などの医師会ではインシャルコストに数億円かかっていますし、ランニングコストも数千万円かかります。経済基盤の小さい一地方の市医師会でまかなえるものではないのです。それにひきかえ八戸市ではコミュニケーションの心臓部に相当する「はちのヘメディカルネット」を150万円かからずに構築したのです。

HMN\メインメニュー

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 八戸市医師会情報 | 30. 八戸医療資源マップ |
| 6. 各種情報 | 31. 医療情報（診療支援） |
| 7. インターネット | 32. 医療情報（経営支援） |
| 10. 電子メール | 40. 会員サービス |
| 15. チャットルーム | 45. おくさまサロン（男子禁制） |
| 20. 掲示板（BBS） | 50. 会員情報 |
| 21. 医療フォーラム | 52. 資料室 |
| 23. スポーツ・文化フォーラム | 53. 医師会事務局へ連絡 |

Q. 終了

「はちのヘメディカルネット」のトップメニューをおみせします。

BBSの現況の詳細は他の紙面にゆずることとしますが、当初の予想よりはるかに活発にボードは運営されています。来年3月には検査データ配信が始まり、そのために開業医療機関に約100台のパソコンが設置されます。HMNの新たな展開が始まるわけですが、これまでパソコンには縁のなかった先生方にどのくらい支持されるのが今後の勝負になると考えられます。

現在クローズドネットで運営されていますが、軌道に乗り次第オープンにできる部分を拡大して行く予定です。

さ て、話をMacに戻しましょう。私はこのネットワーク誕生に少なからずかかわったわけですが、私の任務はもっぱら外交活動にありました。ゼロから始めたわけですから情報収集が必要です。先輩ネットへのアクセス、NIFTY-Serveの医療フォーラムへのアクセスが主な仕事でした。八戸にいながら豊富な情報を手に入れることができたわけです。

Macの基本操作であるところのカット&ペースト、高速通信ソフトであるところのNinja Term、簡単なDAワープロであるところのminiWriter、これらが驚くほど能率良く通信logの収集整理に役立ちました。

元来あまり整理整頓が得意でない私

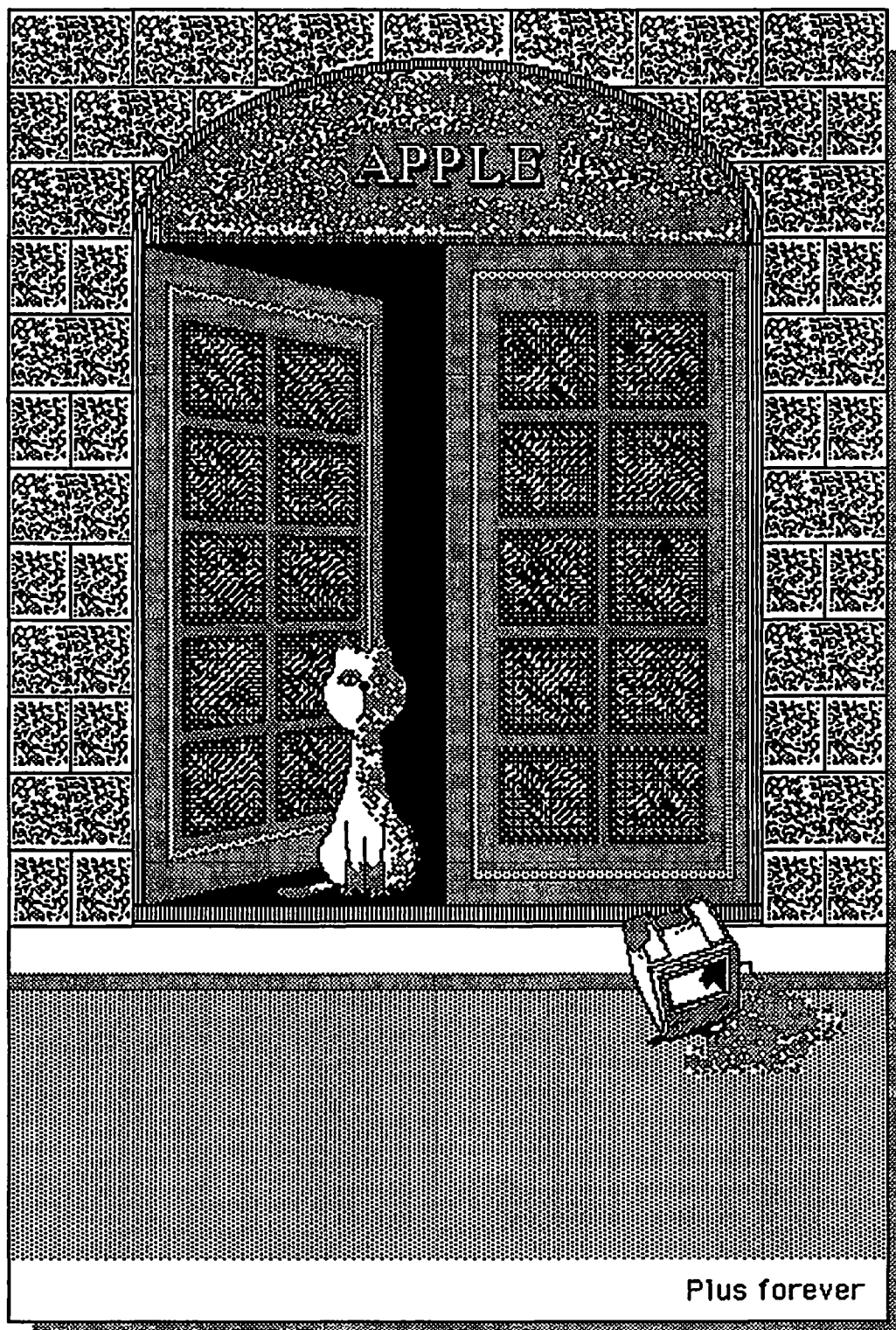
にも簡単にlogが整理でき、編集もいともたやすくできるのでした。しかも大切なことは、これらが私の仕事の片手間にできたと言うことです。

一緒にネットの構築に携わったモニター仲間も、私がよっぽど外交仕事に没頭しているように思われたようですが、あくまでも片手間で仕事は充分だったのです。最初にも述べましたように、Macがなにかしら自分の可能性を延ばす上で役にたてば、と言う目論見は見事に達成されたと言っていいでしょう。HMNの完成もさることながら、全国にたくさんの友人を得たことは最大の喜びです。

H MNの標準マシンは諸般の情勢からFMRが採用されましたが、どうでしょう？吉田先生、佐藤先生、「盛岡メディカルコミュニケーション」は是非Macで構築なされては？HMN企画時にはとても価格的に難しい状況にありましたが、現在はクラシックなどの登場で充分末端マシンとしてのターゲットに入ってきたと思います。

今日はMacそのものからは少々離れた話題になってしまいましたが、情報機器としてのMacが、そのごく基本性能だけでも個人の能力拡大、可能性の拡大に絶大に貢献していることを感じて下されば幸いに思います。





Plus forever

初めての海外出張はワープロ通信と悪戦苦闘した旅だったのだ……

<<真夜中のSOS>>

「夜分、遅くすみません。徳富さんお願いします」——あの日には日本時間で午前零時を回っていたと思う。NY総局から徳富さんにSOSを発してしまっただ。11月6日、僕にとっては初の海外出張となる米国、カナダの通産大臣同行取材の第1番目の地ニューヨークに到着、その夜から東京の本社にパソコン通信で原稿を送ろうと持参のノート型ワープロ、オアシスADで何回もアクセスしたのだが、なかなか通じない。夕方、ワシントンに向かう予定の8日昼にニューヨーク総局に立ち寄ってトライするもやはりダメ。技術担当の人と相談したのだが、原因がつかめなかった。

<<困ったときの徳富さん>>

こうなっては最後の「頼みの綱」、徳富さんに聞くしかないと思い迷惑をかえりみず、とうとう電話してしまったのだ。たぶん、国際電話なので一番最初のタイミングが合っていないのではないですか。東京の方の待ちの時間を長くしてもらっていかがですか、私の貧しい頭で理解した徳富さんのアドバイスはこんな内容だったと思う。僕はニューヨーク総局の人にその旨、東京に連絡してもらおうよう頼んでホテルにもどった。

<<これが本当の初体験>>

そして、翌日の10日、ワシントンから東京にアクセスしてみると、何と、バッチリ通じるではないか。ヤッター！これでワープロ通信で海外からアクセスできることを証明することができた。東京からアメリカのネットワークに日常的にアクセスしている人もいるのだから、基本的には絶対にできるはずと確信していた。しかし、うちのパソコン・ワープロ通信による送稿システムでは私が初挑戦だったし、ニューヨークではダメだったので、これはまずいなと思っていた。

特に今回は電算局に協力を請い、当初は難色を示した編集局の頭の固い幹部をくどき落として強引にワープロ通信での海外送稿をやることにした以上、「ダメでした」とはどうしてもいたくなかった。そして、徳富さんのおかげで何とか成功することができた。この場を借りて謝、謝、謝、謝！ワシントンからは武藤通産相とヒルズ米通商代表部代表、ペーカー国務長官らとの会談を送稿、さらにコメ問題でペーカー長官が強硬な発言をしたため、関連サイドの原稿もふくめて結構な量の出稿だった。

しかし、話はここで終わらない。今回の出張の最大の目的はカナダのニューファンドランド州のセントジョーンズという最もヨーロッパ寄りの大きな島、よって辺鄙な田舎町で開催される日、米、EC、カナダの貿易担当大臣が集まる四極通商会議の取材だ。12日の午後、会場となる当地のホテルに着き、その中に設けられたプレスルームに入ると、電話ファクスが置かれていた。大分、旧式のものらしく、何と原稿を一枚一枚、手送りしなくてはならないし、受信した紙もこれまた自分で手で切るようになっている。嫌な予感があった。

そして、その予感は見事に的中した。ワープロ通信してみると、いっこうに接続しないのだ。それまでは会社とはつながらなくても盛岡BBSやニフティには通じていたのが、全てアウト。この島の回線事情はおそらく相当に悪いのだ。

そこで、コンピュサーブにアクセスし、そこからニフティに入り込んでファクスサービスで原稿を送れないか、そう思い立ち、東京のニフティの事務局に電話した。そして、オタワのアクセスポイントの電話番号と通信設定のやり方を教えてもらい、自宅に電話して妻から一度も使ったことのないコンピュサーブのIDとパスワードを送ってもらった。しかし、オタワに電

話したが、これまた、接続できず、万策尽きてとうとう諦めることになった。残念無念。でも半分は成功したから成果は十分にあった。

<<眠られない日々>>

ところで、この田舎町での会議の取材はなかなか大変な思いをした。というのも日本とほぼ半日時差があるので、どうしても日本時間にあわせ、朝刊、夕刊用にそれぞれ会議の模様やその中での重要ニュースを送る。さらに、朝夕刊用の早い締切時間の版用に予定原稿を送ったりする。その結果、当然、睡眠時間は少なくなる。

初日は午前3時に床に就いたのだが、5時すぎに東京のデスクからの電話でたたき起こされた。武藤通産相がペーカー国務長官とワシントンで会談した時、コメの市場開放で「政治決断する」と発言していたという記事を朝日が夕刊で抜いたというのだ。バカヤロウ、俺は寝ているんだ！と言いたくなるのをグッとこらえて、ムニャムニャと起き出した。

次の夜は会議が終わるのを前に長い総括の記事を書かねばならなくなったが、これが難しく、はっきりいって書けない。冷汗を垂らしながら、記事を午前4時ごろから書き始め、やっと翌朝8時に出来上がった。当然、ほとんど寝ていない。そして、昼に会議が終わわり、日本の翌日の朝ギリギリに原稿を突っ込む。

やっと解放の時がやってきた。ワシントンから一緒に取材に来ている先輩と昼飯を食べて、午後一寝入り。その後、ホテルのプールで泳いで、夜のセントジョーンズに繰り出したのだ。これがまた、楽しかったのだが、ああ、もう原稿を書くスペースがなくなってきた。惜しいなあ。本当はこの辺をゆっくり書きたかったのだけれど、惜しい。と気を持たせつつ、そのうちまた。

by..荒木 健次



MORIOKA BBS NOW

アトランダムに、最近の書き込みをご紹介します。BBSの雰囲気をお楽しみください。

◎ 32: 90MAC068 90.10.29 20:54
ごぶさたです

あまりにも、ひさしぶりです。また参加させてください。

どこかにSE/30 を買えるお金か、GEMINI はないでしょうか？最近のpage maker, illustrator, Mac Draw はPlusではおそいようです。11月の例会はいつ、どこなのでしょう？また、いつてみたいなあああ。10/15に弘前にもZero One Shop ができました。私もそこでLZR650を198000円+TAXで買いました。なかなかきれいなPrinterです。だれか、私にGeminiを安くゆずってくれませんか？Mac Classic はPlusに酷似していますねえ。そうだ、徳富さん、AmericaではGemini 30はいくらですか。

また、岩手にいつてみたい 寺田でした

◎ 31: 90MAC015 90.10.30 01:13
Gemini はエレバで。

寺田さん、お久しぶりです。

11月号のMacWorldのMacZoneしらべで、

68020 SE 16MHz \$697

68020 SE 25MHz \$1118
68030 SE 16MHz \$976
68030 SE 20MHz \$1118
68030 SE 25MHz \$1285
GemKit(for Plus) \$149

でした。これにshipping & handling chargeがつきますから、最終的には大体20%前後割り増しになると思います。GemKitとは、PlusにGeminiをつけるためのキットだそうです。さて、これを円に換算してみるとなんと、ほとんど秋葉原エレクトリックパーツで買ったほうが安いことになりそうです。ちなみに一番良いものはMacZoneから買うと約25万円になりますが、秋葉原エレクトリックパーツでは、19万円で売っています。また、本日のStepの価格では、SE/30, 40MHD内臓2MRAM、日本語版が398000円です。この内臓HDは5万円位のものはずですから、2MRAMフロッピータイプだと35万円位だと思います。さらに漢字Talkなしの、英語版だともう1万5千円くらい安くなるはずですから、33万円位だと思います。正確なことは昼間直接Stepに問い合わせれば教えてくれるはずですが、これからますますMacの環境は変化して行くことが予想されますから、純正品を使うことには大変な安心があります。つまりソフトメーカーは純正のMacで動くように改良はしてくれますが、サードパーティーのものに合わせて改良はしてくれないということです。

現時点でGeminiの性能はすごいものがあり、価格的にも安いのですが、ちょっと先のことを考えると一抹の不安が残ります。また、Plusの電源はGeminiを背負っていく負荷には長く耐えられないとも言われているようです。また、SE/30には、一枚だけですが、ボードを乗せることもできますし、そういう意味で、SE/30から次への発展性が準備されているという、設

計上の余裕も見逃せないところだと思います。

そういう理由で自分もSE/30を選択して、予想以上の快適MacLifeを送っている徳富でした。

PS. いずれにしても、先日発表された新しいMacシリーズも十分検討されたほうが良いと思います。

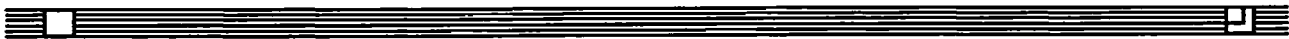
◎ 18: 90MAC015 90.11.10 09:09
8・24 GCとIIfxの組み合わせは凄いい

先日、IIfxはたいしたこと無かったと申しましたが、例会でMMMにApple Japanが持ってきてくださった、野村さんのビデオを、白石さんからお預かりしてきたビデオを見て、驚きました。まさに白石さんおっしゃっていたとおり、IIfxはそれだけではあまりたいしたことではないのですが、8・24 GCビデオボードを組み込んだとたんに、まるで別世界にユーザーをいざなってくれるようです。PageMakerをスクロールさせた時に、行の書き換え動作が見えなくなります！そしてあたかも一枚の紙をただずらしているかのごとく、実にスムーズに上下左右に動くのです！自分の想像していた世界が見事に具現されました。

あれだけハードが速いと、下手で回りにくいソフトを書いても充分使い物になるに違い無く、創作意欲を駆り立てられてしまった徳富でした。

◎ 12: 90NOMURA 90.11.15 13:29
BMUG PD-ROM Vol.2

昨日、BMUG PD-ROM Vol.2が届きました。MasterCardのレシートの日付は、11月6日でしたが、発送伝票は11月8日ですから、数字の上では6日かかったこととなります。OHIOのDublinは、東側ですから、Federal



Express でも、こんなものでしょう。もともと、フェデラルエクスプレス、ジャパンでのハンドリングもあるようですから、早い方かも知れません。

さて、肝心の中身ですが、

- 300 Educational Programs
- 200 FKeys
- 500 Games
- 1000 HyperCard Stacks
- 2500 Pictures
- 200 Telecom Programs
- 250 Desk Accessories
- 800 Fonts
- 200 Graphics Programs
- 300 Macintosh Programs
- 300 Sounds
- 600 Utilities

～で、約600メガバイト入っています。これで、\$50.00(Update Fee) + \$40.00(Ship&Handl)の\$90.00は安いと思います。(新たに購入の場合は\$99.95と送料) ...でも、アップデートの案内では、\$55.50(Update Fee) + \$35.00(S&H)の\$90.50でしたが...まあ、安かったからいっかあ...

中身を見るのがシンドイ野村でした。

© 3: 90MAC039 90.11.17 10:54
6.07について

フッフッフ。
もう私は6.0.7を使用しています。照井さん。変わった所の第一はMS-DOSデータや通信データの画面表示用等幅フォントが2つ。1つは中明朝、1つは中ゴシック用です。これを使用すると、英文字のプロポーショナルでなく漢字同様半角文字が全角文字の半分の等間隔で表示になります。第二には、APPLE EXCHANGERに一太郎用のフィルターが付き、2DD640Kのフロッピーが読めるようになりました。第三には、2.1変換用にINLINE入力

INITができ、INLINE入力が可能になりました。又、JAPANからINLINE入力が提唱されましたので、おそらく近々にはEGBrige、VJE、TurboJipらがバージョンアップされ、INLINEルーチンが統一されるようになるはずです。第四は、システムエラーダイアログに数字だけでなく、メッセージが付くようになった。第五は、LASEPRINTERドライバーがCOLOR SCRIPT PRINTERをサポートした。白黒レーザーの場合は、グレースケールになる。第六は、CONTROL Managerのバグフィックス。第七は、LIST Managerのバグフィックス。第八は、Multi Finderのバグフィックス。第九は、Script Managerをたくさん変更した模様。第十は、Shutdown ManagerのMacPlus用のバグフィックスとダイアログ変更。第十一には、Sony disk driverのトラック40より前を読めるようにした。第十二は、Sound cdevにボタンを付加した。第十三は、Sound Managerを一新してSYSTEM 7.0用にした。以上のようなようです。

P.S. 照井さん、HP Turbo丸ゴシックを買って、Osaka40にして使っています。又、パラメトリックフォントを先日出張の時に買ってきました。これを使う場合、中ゴシックと細明朝の表示フォント使用するので、Turboの明朝、ゴシックを中ゴシックと細明朝に変更しないで、使用することにしました。パラメトリックフォントはまあまあいいですよ。ATMの漢字版がでるまでこれを使用することにしました。

都南のパン屋 白石隆

© 1: 10ZZ0073 90.11.18 22:09
SimEarth!!!

220ページにわたる立派な英文マ

ニュアルつきでした。

待望のSimEarthが土曜日に到着しまして、とある太陽系の惑星のひとつに、神の御手を下すことと相なりました。残念ながら、報告できるような成果が得られておりません。地球型の惑星には、濃密な大気と、十分な水と熱とがあって、太陽からの熱エネルギーと地殻の活動がもたらす熱対流が、既に生じています。生命誕生を誘引するための、隕石落下も起きました。そう、生命は誕生しました。しかし、海は、やがて沸騰します。哺乳類の誕生と同時に、初めての関口惑星は終りを告げることとなりました。マニュアル35ページ分の成果がこれです。恵まれなかったものたちに、深く、合掌。どうやら、SimEarthを楽しむには、地球科学と、生物学の知識が欠かせないものと見えます。生命の発達段階が遅れても、進みすぎても惑星は現在の地球の姿に近づいてくれないようです。「ガイアの理論」は知らないのですが、ゲーム製作の狙いのひとつに地球のかけがえのなさでもいうものを伝えたいという意図があるのは、たしかですね。核による最終戦争を招くことなく、人類を高度な文明へ導き、そして宇宙へ旅立たせてやることのできるかどうか。時間がかかりかかりそうです。参考文献をこれからあさることになるのでしょうか。英文マニュアルを説破するより先に、解説本が出版されること折りませうか。後半の50ページは、ゲームでなく地球科学の入門編になっていますから。

MacJapanよありがとう。唇のマークを見てしまった。とってもうれしい関口でした。



余計なお世話ツと

by 福田健次

今回はホンの余計なお世話をしそうで恐縮しているのです。後で石でもぶっつけられそうで怖いのですが、林檎のゲテ物シリーズの先鞭をこの私がつけるからには、それを覚悟で乗り越えなくちゃと自分を励ましながらかき廻りました。「水道を凍らせないために」という切実にしてどうでもいい話です。

水は凍ると言う、あつたりまえだというでしょ？でも、頭で理解するのと実感レベルで理解するのは別なんですよね、これが。水道局に勤めている私だからこう言えるのです。

最近はずの技術陣も横着になって大抵のプラントの設計を外注するようになりました。基本仕様を提示して、発注先の担当者と細部の詰りを打ち合わせながら具体的な図面が出来上がって行きます。この発注先が四国の業者だったりすることもあるわけです。

水道のプラントですから機械類は水の中だったり、水の入った配管が縦横無尽に走り回っていたりしますので、冬場の凍結防止には気を使います。なにしろ厚い銅物のバルブなんか、一度凍るとバクリと割れてしまいますからその被害は甚大です。まして家庭の蛇口や配管なんぞは一堪りもありません。

で、業者を脅すわけです。「盛岡は（岩手は）寒いんですよ」「寒いんでしょねえ」「最低気温が-16度位はざらなんですよ」「へええ、寒いんですねえ」

「配管は凍るんですよ」「凍るんでしょねえ、大変ですねえ」

この辺りまでは漫才です。なにしろ相手からは「大変ですねえ」という言葉とは裏腹に緊迫感が伝わってこない。暖簾に腕押し、糠に釘。

この後は凍結防止の手立てについて、ああしろこうしろと細かい注文を付けて、それでもさっぱりわかった風もない相手に腹を立て疲れるという寸法になるわけです。ま、無理もないことで、水が凍って困った生活実感がないわけですから。

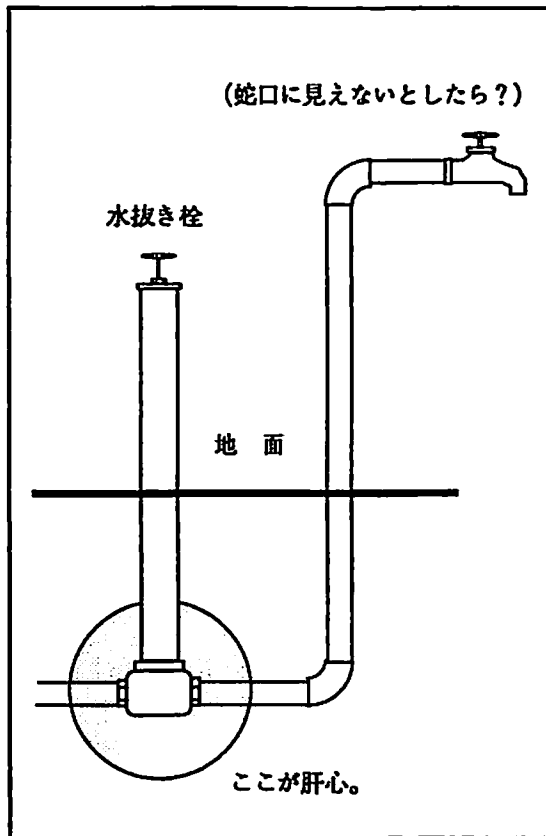
似たような感覚が暖かい地方からの転勤族にあります。盛岡の最初の冬に水道を凍らせてしまいます。朝起きて蛇口を捻るとギシギシ重い。やっと開けても水が出ない。慌てて家中の水道を捻りまくる。どこも出ない。このあたりで顔が青ざめて来る。顔が洗えない。朝ご飯の支度ができない。トイレが流せない。

朝起きて最初にトイレに飛び込んでから気がついたときは悲劇です。爽快な気分と共に、湯気を上げている分身に別れを告げようとしたら水が出ない。普段はさっさと水に流してしまっただけなのに、その朝だけはその重量感に圧倒されてうろたえてしまう。

これを人に知られたくなくて、春までその家を放棄して別に部屋を借りた人を知っています。雪解けと共に帰宅したときにはあっちこちの配管が水を噴いていて、さらなる悲劇に直面した訳ですが。

と、皆さんも何度かはこんな体験を通じて、夜「水を落とす」ことを励行していますよね。「水抜き栓」で立ち上がり配管の水を抜くわけです。

この「水抜き栓」の仕組みは図のようになっています。バルブを閉めると立ち上がり配管は排水孔につながって地下数十センチまでの配管の水は地面に吸われてめでたく空になって凍結から身を守るわけです。この地下まで抜けるところがみそで、地表から約60センチまでは地面まで凍りますから中途半端な抜け方をすると、「水を抜いた」にもかかわらず水道が凍ることになります。この原因の多くが左の図でここが肝心と書いてある水抜き栓の排水孔の周りであることが多いのです。ここは毎日毎日水が排出されて地面に染み込んでゆくところですから、水はけが良くないと立ち上がり管の水はゆっくりと落ちていき、落ちる途中で凍ってしまいます。大抵はここに砂利を入れたり、良心的な工事店では専用の浸透料を設置したりしてくれま



す。もしもあなたが毎冬水道を凍らせる常習犯だったら、この辺を疑って結構です。もっとも水抜き栓の存在すら知らなかったり、蛇口を閉めたままで水抜き栓を閉めていたら何をか言わんや、です。



編集後記



財政難ということではなく、時間と人手不足のため、やむをえず今回から暫くページ数を減らすことになりました。あなたの参加を心よりお待ちしております。
徳富



余計なお世話は編集方針として、会員の皆様の裏芸(本業)にまつわるTIPSを掲載することになりました。MacJapan誌にTIPS大全が載っていたからという訳ではありません。露払いを引き受けましたが、TIPSが見当たらず「私の仕事は何なのサ」と反省しております。
ふ。



ついにPlusが生産中止というので、追悼のギャラリーを描きました、Plusで。新しい機種のデザインはどうも魅力がありません。あのデザインでPlus/40が出ませんかねえ。
佐々木



今日は、今までの反省が生かされて比較的スムーズに編集できたような気がする。スタートが遅かった割に早く終わったのかなアー。
菅野



ページが仕上がってからの校正に時間を掛けた分だけ品質が上がってれば喜ばしいのだが...
作成した側が吟味した所が、読者に伝わればこんな嬉しいことは無いのだが...
次回も編集が快適になれば良いのだが...
野村



今回はイラストレータにチャレンジして見ました。毎回新しい体験をさせて頂いて感謝感謝です。
照井



今回の編集は、前号の反省が生かされて余裕有る会議でした。今後もこの線で行きたいものです。
佐藤



編集が短時間で終わったことと、今回執筆して頂いた遠山さんに編集委員をしてみませんかと打診してみたところ、機会があればと結構前向きなお返事を頂いたことで、二重の喜びでした。
高橋



誠に申し分けないことですが、私現在仕事でして、中間編集会議分にて終りにしてしまいました。雑な編集で申し訳ありません!(荒木さんゴメンナサイ)
熊谷

会員名簿

Evelyn Harry 盛岡市
Dick Harry 盛岡市
Richard L Lammers

U.S.A.
青山 真紀子 盛岡市
浅田 昌稔 和賀町
浅沼 清智 花巻市
浅野 恵治 花巻市
荒木 健次 柏市
安保 淳一 盛岡市
伊崎 誠一 川越市
伊藤 光司 花巻市
伊藤 俊也 盛岡市
大石 伯 前沢町
大河原 清 盛岡市
小笠原 英彦 盛岡市
沖野 覚 二戸市
小沢 徹 盛岡市
桂川 茂彦 盛岡市
兼平 信一 盛岡市
萱沼 まゆみ 盛岡市
菅野 卓矢 盛岡市
工藤 道範 盛岡市
熊谷 朋也 盛岡市
香城 孝磨 富山市
小松 寿夫 北上市
齋藤 岳 盛岡市
斎藤 武 盛岡市
斎藤 怜 盛岡市
佐々木 明宏 盛岡市
佐々木 幸司 盛岡市
佐々木 健 矢巾町
佐々木 俊光 胆沢町
佐々木 治男 矢巾町
佐々木 裕 盛岡市
佐々木 文雄 紫波町
佐々木 光夫 大槌町
佐々木 吉則 盛岡市
佐藤 護人 盛岡市
狼橋 浩昭 盛岡市
渋谷 誠 盛岡市
白石 隆 都南村
菅原 健蔵 盛岡市
菅原 忠雄 花巻市
杉村 栄一 盛岡市
鈴木 是光 盛岡市

鈴木 卓 軽米町
鈴木 卓 盛岡市
瀬川 昌男 盛岡市
関口 厚光 盛岡市
戦場 博和 盛岡市
高島 浩一郎 盛岡市
高橋 晃 盛岡市
高橋 真知子 盛岡市
武元 伸次 盛岡市
田中 慶司 東京都
谷口 和美 盛岡市
谷藤 幸夫 盛岡市
千田 昭宏 北上市
塚野 弘明 盛岡市
照井 恒 盛岡市
照井 芳夫 花巻市
遠山 明人 盛岡市
徳富 亘 花巻市
中居 賢司 盛岡市
中島 順 流山市
長土居 正弘 盛岡市
西島 光茂 盛岡市
根本 聡彦 八戸市
野村 行憲 盛岡市
橋本 彰 盛岡市
日比野 利彦 都南村
平野 三千代 盛岡市
福田 健次 盛岡市
藤村 洋 盛岡市
藤原 和彦 盛岡市
本多 健一郎 盛岡市
米谷 則美 盛岡市
前田 修悦 仙台市
真館 貞治 盛岡市
松倉 拓次 都南村
三浦 一之 盛岡市
三浦 利章 盛岡市
三浦 吉範 盛岡市
三田 光明 盛岡市
村上 誠一 盛岡市
村上 弘行 盛岡市
村川 寿 柏市
望月 善次 盛岡市
本館 康司 花巻市
森 貞吉 盛岡市
山田 真希 盛岡市
山本 淳 盛岡市
吉田 新二 盛岡市
吉田 実 盛岡市
吉村 弦 盛岡市
和田 政男 盛岡市
渡辺 浩志 能代市



例会日程

1月10日 (木)
2月 7日 (木)
3月 7日 (木)

※会費未納の方へ

IMFの会費は、4月から翌年3月までの1年分で3,000円です。未納の方は例会で会計まで、もしくは下記口座まで。

岩手銀行盛岡市役所出張所 普通
預金 024340
岩手マックユーザー会 代表
佐々木幸司

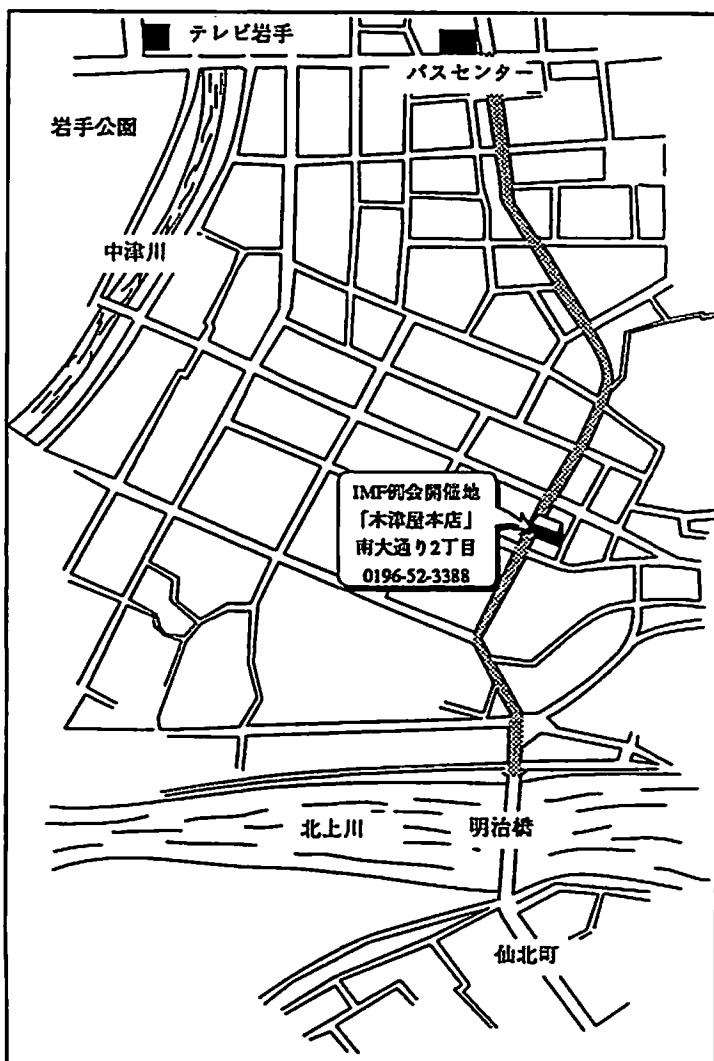
(口座名は会の名前が決まる前に作ってしまったのでこんな変な名義になってしまっています。直せばいいんですけど・・・)

平成3年度総会予定

当日総会に引き続きセミナーを開催する予定です。

つきましてはセミナーに対するリクエストをお待ちいたします。

盛岡BBSのMACIN-TALKもしくは野村宛にお寄せ下さい。



「林檎」12号は...

ASLTalk	ByWord
Color Magician	Digital Darkroom
EG-Bridge	EG-Word
Freehand	Illustrator
MacPaint	MacVJE
NinjaTerm	PageMaker
QuarkXPress	SuperPaint
TurboJip	TurboWriter

等で作ったものをPageMakerでまとめ、LaserWriter II NTX-Jでプリントしました。

1990/12/6 第12号
発行 岩手Mac友の会
代表 野村行憲
盛岡市月が丘 1-1-36

非売品